

市制施行10周年記念事業

湿地サミット開催!

全体発表会



参加者の声

さまざまな発表者から湿地への愛情が感じられた

湿地の問題が身近になった

人手不足が話題になりがちだが、希望が見えた

実際に会って交流するのは良いことだった

交流会

交流会の参加者は、日頃の保全活動の疑問を登壇者たちと話し合い、ざっくばらんな意見交換が行われました。

名古屋工業大学大学院
ますだ みちこ
増田理子教授(写真右)



愛知学院大学教養部
とみたけいすけ
富田啓介准教授(写真右)



愛知県公園緑地課
そがえ たかひろ
祖父江貴宏さん(写真中央)



生物多様性あいち学生プロジェクトGAIA
なかしま
中島さくらさん(写真中央)



6月1日(水)に文化の家で第29回湿地サミットが開催されました。湿地サミットとは、愛知県下の湿地保全活動に関わる団体や自治体等が集い、湿地の保護・安全をテーマに各地の湿地・湿原を紹介するとともに、活動団体同士の情報交換を目的とした事業です。

今年は長久手湿地保全の会のみなさんの全面協力の下、長久手市が主催となり、市民活動団体、自治体職員、専門家や大学生等さまざまな立場の人々が知恵を出し合い、豊かな生態系を育む区域を次世代へ残すためのアイデアが交わされました。

体験コーナー

会場では長久手湿地保全の会のみなさんがワークショップを開催し、訪れた人たちとのちょっとした情報交換等で盛り上がりました。

オリジナルしおり作成コーナー



情報交換掲示板

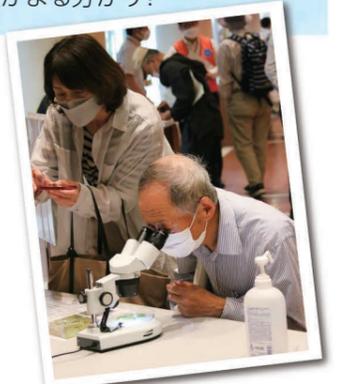
鯉ヶ廻間湿地で採取した食虫植物「イヌタヌキモ」の袋状の捕虫のうの構造がまる分かり!

主催地展示コーナー



保全作業をすることで出現するようになった希少な植物を展示!

参加団体紹介コーナー



双眼顕微鏡で観察コーナー

鯉ヶ廻間上池・下池周辺湿地の見学

見学地は2020年から保全活動を始めたばかりの発展途上の湿地です。長久手湿地保全の会、専門家、市が協働し、目指す湿地の姿を模索しながら現在進行形で保全作業を行っている様子を見学していただきました。



秋に市民対象の湿地サミットポストイベントを開催予定です!お楽しみに!